

デジタルドキュメント(1)

高久雅生

2014年4月17日(木)3・4時限

本日のお品書き

- 授業内容の解説
 - 概要： 何をやるか？
 - 予定： いつやるか？
 - 目標： 何を目指すか？ 何を目指さないか？
 - 評価
- デジタルドキュメントとは何か？
 - 定義、ジャンル、種類、用途
 - 流通、形態

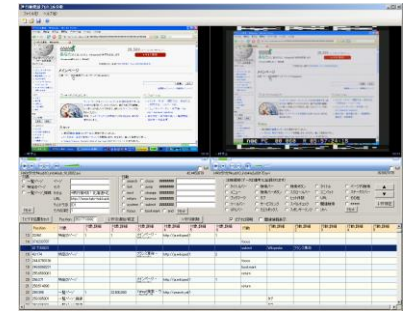
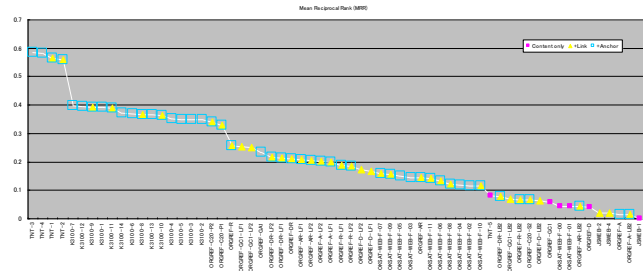
自己紹介

- 高久雅生(たかくまさお)
 - 知識情報・図書館学類 准教授
 - 所属: 知識情報システム主専攻
 - 東京都出身
 - 図書館情報大学卒業, 筑波大学修了
 - 昨年度に着任(2年目!)
 - 前職: 物質・材料研究機構 エンジニア
 - 前々職: 国立情報学研究所 研究員
- 学類における講義
 - 「情報基礎実習」
 - 「統計-1」
 - 「デジタルドキュメント」(専門科目)

専門(研究テーマ)

- 「ひとの知的活動をアクティブに支援すること」を目標に、システムのアプローチによる研究を専門としています

- 情報検索
- 情報探索行動
- 電子図書館
- 情報共有



デジタルドキュメント (Digital Document)

授業概要

(授業概要をシラバスから)

デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。

つまり？（要約）

- ドキュメント（文書）のうち、デジタルの特性を持つモノを生成、管理、利用することの諸々の側面を扱います。
 - 例：
 - 電子書籍
 - ウェブ
 - メール
 - etc.
- デジタルでない紙の文書の特性は扱いません。
- ドキュメントでないモノは扱いません。

(授業の概要をもう一度...)

デジタルドキュメントは、ハイパーテキスト、ウェブを介した発信、多人数による共同編集等の概念を含む、新しい情報メディアである。本講義では、学術研究分野や電子出版、電子書籍におけるデジタルドキュメントの作成と管理、発信の実例を取り上げ、その機能がどのように実現されるかを解説する。

教育目標

- デジタルドキュメントの範囲と位置づけを理解する。
- 学術研究分野におけるデジタルドキュメントの発信と利用動向を理解する。
- 電子書籍及び電子出版に関わるデジタルドキュメントの動向と技術を理解する。
- ウェブにおけるデジタルドキュメントの位置づけを理解する。

教育目標(1)

- デジタルドキュメントの範囲と位置づけを理解する。
- デジタルドキュメントの
 - 定義
 - どのような種類があるか
 - 事例
 - 評価軸
 - 処理方法について、述べることができる。

教育目標(2)

- 学術研究分野におけるデジタルドキュメントの発信と利用動向を理解する。
- 学術分野で使われているデジタルドキュメントの事例や、その種類を挙げて、それぞれの動向について説明できる。
 - Eジャーナル
 - Eブック
 - 学術論文や専門書の表現と構造
 - 学術情報の粒度

教育目標(3)

- 電子書籍及び電子出版に関するデジタルドキュメントの動向と技術を理解する。
- 電子書籍の事例、種類、動向について、及び電子出版と関連付けて説明でき、使われている技術や標準といった内容を説明できる。
 - 電子辞書
 - EPUB, XMDF, 国際標準

教育目標(4)

- ウェブにおけるデジタルドキュメントの位置づけを理解する。
- ハイパーテキストとしてのウェブ文書、ウェブページ概念と、その技術、利用のあり方について理解する。
 - ウェブで利用される文書の例
 - HTML文書とその構造
 - ウェブページの構築
 - ウェブページの利用

授業予定

- 4/17
 - デジタルドキュメントの範囲と位置づけを理解する。
- 4/24, 5/1
 - 学術研究分野におけるデジタルドキュメントの発信と利用動向を理解する。
- 5/8, 5/15, 5/22
 - 電子書籍及び電子出版に関わるデジタルドキュメントの動向と技術を理解する。
- 5/29, 6/5, 6/12
 - ウェブにおけるデジタルドキュメントの位置づけを理解する。
- 6/19
 - オフィス文書としてのデジタルドキュメントの役割を理解する。

授業評価

- 数回のレポート課題とその採点により評価する
 - 進捗度合いを見ながら、課題を出す予定
 - (というか、今日も出します)
 - レポート課題は必ず提出すること(遅れ提出も可)
 - やむを得ず欠席した場合も、レポート課題を提出すること
- レポートの評価基準
 - 原則として要件を満たすことによりAを付与します。内容が良ければA+として加点、質や分量に問題があれば減点します
- 試験は行わない。

参考文献

- 2冊指定しています
- そのほか、適宜紹介します



湯浅俊彦. 電子出版学入門—出版メディアのデジタル化と紙の本のゆくえ—. 改訂3版. 出版メディアパル. 2013, 142p.



野村総合研究所. 2015年の電子書籍: 現状と未来を読む. 東洋経済新報社. 2011, 194p.

関連する授業科目

- 知識情報・図書館学類
 - GE10301「情報基礎」(鈴木先生)
 - GE60201「テクニカルコミュニケーション」(三波先生)
 - GE60801「学術メディア論」(松林先生)
 - GE70401「デジタルライブラリ」(宇陀先生)
 - GE80301「学術情報基盤論」(逸村先生)
- 情報メディア創成学類
 - GC14401「コンテンツ流通基盤概論」(杉本先生)
 - GC51901「マークアップ言語」(杉本先生、永森先生)

講義設備

- 講義場所
 - メディアユニオン1階
- マイク
 - 音量ボリューム、音響関連に課題
 - スライド投影が見つらい場合等あるので、できるだけ前方の席に座るようにしてください
- スライド
 - ホワイトボードへの投影は反射して見つらい場合があるようです
 - ※必ずスクリーンを下ろすようにしますが、忘れていたらご指摘ください

連絡先

- この授業科目について疑問・質問・意見などあるときは、オフィスアワーに研究室に来てください。
 - オフィスアワー: 木曜日5時限(この授業時間の直後)
 - 7D 208研究室
- または、メールにてアポイントメントを取ること
 - masao@slis.tsukuba.ac.jp
 - ご質問はお気軽にどうぞ
 - Twitter: @tmasao



授業資料、お知らせ

- <http://masao.jpn.org/lecture/2014/digital-document/>
 - 上記サイトにおいて、授業資料は随時公開、提供します。
 - 授業のお知らせ等もこちらに掲載します。
- 履修登録
 - 〆切：4/24(木)
 - 学類に応じた科目コードを用いること
 - 情報メディア創成：GC53401
 - 知識情報・図書館：GE70301

What is digital document?

デジタルドキュメントとは？

授業科目の名称について

(※最初にお断り)

この授業科目の名称は

「デジタルドキュメント」

ですが、私は、

「デジタルドキュメント」

または「Digital document (DD)」

という表記を使って話すことが多いです。

#いずれも同じ概念を指しています。

デジタルドキュメントとは？

- 広義には、デジタルメディア上で配信・流通・利用されるドキュメントを指す。
 - (この授業では、おおむねこの定義に従います)
 - ※概念そのものが新しく、何か定説があるわけでない
- つまり、「ドキュメント(文書)」がデジタルメディア上に展開されたモノを指す。
 - 1)「ドキュメント(文書)」の特性
 - 2)「デジタルメディア」の特性
 - 両方を満たすもの。
- 狭義には、産業用のデジタルメディアにおいて作成、提供される製品説明書、仕様書などを指す。
 - 説明書、マニュアル

メディアとは?

- 媒体
 - 人々のあいだで情報を流通するための基礎的な媒介物
 - マスメディアやメディア企業のように、ジャーナリズムや情報媒介を主とする組織・団体、活動
- メディアの種類
 - (パッケージ系)
 - 紙, レコード(LP), 磁気テープ(DAT, VHS), 磁気ディスク(FD), 光学式ディスク(CD, DVD)
 - (ネットワーク系)
 - WWW(World Wide Web), 電話, 放送(テレビ, ラジオ), 無線,
 - (場としてのメディア)
 - 会話, 演劇・コンサート
- デジタルメディアを理解するにはメディアを理解する必要がある

デジタルとは?

- Digital ⇔ Analog (アナログ)
- アナログは連続的な表現形式であるのに対し、
- デジタルは 0 と 1 や ON と OFF の切り替えを表現した形式



ドキュメント

デジタルメディア

ドキュメントとデジタルドキュメント

ドキュメント【document】

- 1) 資料的な文書。記録。
- 2) 記録映画。記録文学。
- 3) コンピューターで、プログラム開発の際に作る仕様書や使用説明書。

(小学館・大辞泉より)

ドキュメントとデジタルドキュメント

- document

- ▶ noun a piece of written, printed, or electronic matter that provides information or evidence or that serves as an official record.

- ▶ verb [with obj.] record (something) in written, photographic, or other form.

(Oxford English Dictionary)

ドキュメントとデジタルドキュメント

- document ← documentum (ラテン語)
 - doc- (教える) + -mentum (方法; 結果)
 - メディアや技術を問わず、教授する/伝える手段
- document → (派生語) documentary
 - 記録、記録映画、ドキュメンタリー番組

(脱線) documentの語源

- doc-, doct- (教える)
 - discipline (規律, 訓練法, 分野領域)
 - doctor (博士)
 - doctrine (教義)
 - documentary (記録映画)
 - education 教育; ← ex- + doctus

ドキュメント

- ドキュメント、あるいは、文書
 - 公文書
 - 法律、起案書、登記台帳
 - 私文書
 - 企画書、契約書、請求書、申請書、会議録
 - ドキュメントの文脈
 - 目的: 目的・用途を反映した文書として作成し、交換する。
 - 対象: 誰が読むか、いつ読むか。
 - 場面: 文書がかかれるシーン。いつ書かれるか、どの程度の内容、分量、正確性が要求されているか。
- ※上記の3つの文脈を反映させた要素として、文書の内容が決まってくる。

デジタルドキュメントとは？

- デジタルメディア上でドキュメントを提供している。
- コンピュータ上で; ネットワークを通じて
- パッケージ型, ネットワーク型
- (電子文書; E-document)
- ウェブ
 - Twitter; YouTube; ...

ドキュメントの文脈

- 文脈を意識すること、利用を意識すること
 - Who: 誰が作るのか? 誰が使うのか?
 - What: 内容は? 分量? 質?
 - When: いつ作成されるか? いつまで有効か?
 - Where: どこで作られるか? どこで流通するか?
 - Why: 目的?
 - How: どのように作るか? 技術的課題?

デジタルドキュメントの周縁

- ドキュメントとデータの違い？
 - データ: 構造化されたレコード。
 - 例: 電話番号帳、人事記録。
 - ドキュメント: 記録されたコンテンツ。人が読んで理解できるもの。
 - 例: 説明書、マニュアル、図面、楽譜。
 - cf. Wikipedia vs Dbpedia
 - cf. データ指向XML vs ドキュメント指向XML

デジタルドキュメントと デジタルコンテンツ

- ドキュメントとコンテンツはいずれも「内容」を指す言葉
- 使われる領域も重なることが多い
 - コンテンツとドキュメントのいずれも、ひとによる「解釈」を要する点を考慮。
- ドキュメントと呼称する場合は、ある程度、テキスト的なコンテンツ (textual contents) であることが多い。

デジタルドキュメントと図書館、電子図書館 (デジタルライブラリー)

- 図書館はサービス主体
- 電子図書館 (digital library) は、デジタルメディア上におけるサービス
 - 電子図書館は、サービス機能 (収集、検索、蓄積、保存) を持つ。
 - サービスの対象がデジタルドキュメントであることは多い。

デジタルドキュメントと出版、電子出版

- Publishing (← publish ← public)
 - 刊行する。
 - 公開すること。
 - ドキュメントを作り、配布すること。
 - 媒体や方法を問わない。
- 出版:
 - 「版」は板, 木版印刷を指す。
 - 技術、媒体から生まれた用語
- Digital publishing
 - 電算化
 - デジタルメディアでの作成、配信
- (編集、編纂)

デジタルドキュメントに対する視点

- ドキュメントのジャンル
 - ビジネス・用務：業務文書、行政文書
 - 調査研究：書籍、論文、特許
 - 教育：教材
 - 趣味：文芸その他
- ドキュメントの流通
 - 出版・刊行
 - Web
 - インハウス (in-house; 組織内流通)

第1回レポート課題

- デジタルドキュメントとはどのようなものか、具体例を挙げて説明してください。
- その際、文献(書籍または論文等)を一つ以上参考文献としてあげること。
 - A4用紙1ページにまとめること(書式自由)
 - 課題番号(第1回レポート課題), 提出日, 学籍番号, 所属, 氏名を提出用紙の一番上に必ず記入すること
 - 次回の授業時間の最初に提出を求めます。

本日のまとめ

- ドキュメント(文書)とは？
- デジタルドキュメントとは？

- 次回の予定
 - 今日の続き
 - 学術分野を対象としたデジタルドキュメントの事例について解説
 - Eジャーナル (E-journal)
 - Eブック (E-book)